

京都市立西京極西小学校と嵯峨美術大学による  
令和6年度 京都芸術教育研究事業  
「つながる広がる 西西「わ」のあかり」プロジェクトの実施について

本学で教職課程を履修している学生有志 27 名が、京都芸術教育コンソーシアム（通称 アルテ Art-e Kyoto）の研究事業（京都芸術教育研究事業）として、京都市立西京極西小学校で制作支援に取り組みました。今回は『つながる広がる 西西「わ」のあかり』をテーマに、全校児童が保護者・地域の方々と共に「あかりの造形」を制作し、作品展を開催して鑑賞を楽しむプロジェクトです。制作は本学学生の支援の下、3～6年生は和紙と厚紙を使って学年に応じた技法やテーマで個人制作し、1～2年生と保護者・地域の方々は本学の行灯制作の知見を活かして、和紙貼りの竹枠に自由に絵を描いたりして制作しました。小学校体育館で開催された作品展では、寒い中、特に日没から多くの来場者があり、児童が家族に自分の作品を案内したり、作品と一緒に写真を撮ったりする姿があちこちで見られ、会場案内の学生にも「とても綺麗で良かった」と声をかけていただきました。参加した学生にとっては様々なつながりの中で実際の教育現場の様子を垣間見ることができ、教職を目指す上で貴重な経験になったと思います。

（嵯峨美術大学 芸術学部 造形学科 内田隆寿教授）

※本企画の詳細については、別紙『「つながる広がる 西西「わ」のあかり」プロジェクトの概要』資料を参照。

# 令和6年度 京都芸術教育研究事業 「つながる広がる 西西「わ」のあかり」プロジェクトの概要

## 1. 活動内容 【あかりの造形の制作】

- 大学生の支援のもと全校児童で学年に応じたあかりの造形の制作に取り組む  
(大学独自の取組も活用して低学年児童、地域や保護者の方も制作活動に参加できるようにする)
- 成果をホームページや学校だより等で発信するとともに、作品展を開催し鑑賞を楽しんでいただく

## 2. テーマ

.. \*★★ つながる広がる 西西「わ」のあかり ★★.. \*\*  
「和紙を生かした和のあかり」「こころが和む和のあかり」「会話が弾む話のあかり」  
「みんなでつなく輪のあかり」「平和を願う和のあかり」

## 3. 取組の経過

- 9月 ●学生ボランティア(以下、学ボラ) 募集  
10月 ●学ボラの学内打合せ ●学ボラによる試作品制作
- 11月21日(木) 13:15~13:45 実行委員会  
●小学生(6年生全員)と学ボラ(代表)がZOOMで顔合わせ



- 11月27日(水) 8:50~12:10 制作活動(場所:小学校体育館)  
●1・2限 3・4年生 「和紙と厚紙で筒形本体をつくる」  
●3・4限 5・6年生 「厚紙で本体の骨組みをつくる」  
※保護者・地域 9:30~ 「竹枠に和紙貼り、装飾する」 ※1・2年生は制作場面の見学

- 12月 5日(木) 8:50~12:10 制作活動  
●1・2限 3・4年生 「本体に模様貼り、切り込み装飾する」  
●3・4限 5・6年生 「和紙貼りで形をつくる」

- 12月13日(金) 8:50~12:10 制作活動  
●1・2限 1・2年生 「ドーム型行灯に絵を描く」  
●3限 5・6年生 「絵の具で彩色する」

- 12月19日(木) 10:30~ 会場設営・準備・作品搬入  
14:00~ 『あかりの造形展』開催  
18:30~ 搬出・撤収



※学ボラは延べ90名ほどが制作支援等の活動を行った





